2008 年 11 月 21 日
野村不動産株式会社

報道関係者各位

約 33.3 万㎡の再開発エリアに近接、総敷地面積約 2.3 万㎡、総戸数 725 戸(※)
『健康・子育て・安心』豊かな暮らしを実現する複合開発の街づくり
23 区内最大規模のプラウド ――『プラウドシティ金町』誕生

野村不動産株式会社(本社:東京都新宿区 取締役社長:鈴木弘久)は、複数の再開発計画が進行する JR常磐線「金町」駅徒歩 7 分にスポーツ、医療、保育といった暮らしに欠かせない施設を併設した『プラウドシティ金町』のモデルルームをオープンし、11 月 22 日から販売を開始致します。
『プラウドシティ金町』は、『プラウドシティ金町ガーデン』(421 戸)及び『金町Ⅱプロジェクト』(304 戸)の 2 棟による総敷地面積約 2.3 万㎡、総戸数 725 戸の大規模複合開発プロジェクトであり、これまで「プラウド」に寄せられた多くのお客様の声の集大成として、暮らしの本質と真摯に向き合った「街づくり」を進めてまいります。

◇約 33.3 万㎡の再開発エリアに近接、金町駅南口では駅前再開発も進行中

本物件は約 33.3 万㎡の再開発が進む「新宿 6 丁目地区開発エリア」に近接。広大な敷地はマスタープランに基づき各々のゾーン毎に開発が計画されており、エリアの中心には都市公園の整備と大学の誘致が予定されています。また金町駅南口では「金町 6 丁目地区第一種市街地再開発事業」が進行中。区立図書館をはじめ商業施設や医療モールが整備される予定です。

◇～健康・子育て・安心～豊かな暮らしを実現する理想の「街づくり」

≪健康≫

- 敷地内に大型スポーツクラブ「KSC wellness」がリニューアルオープン予定。2 面の 25 メートルプールや 3 面のスタジオ、広々としたマシンジムの他、サウナ・ジャグジー等も完備。お子様からご高齢者まで安心して運動ができる地域密着型のスポーツクラブです。
- マンション敷地外周は 1 周 420 メートルのウォーキングコース。距離を示すウォーキングサインも設置しました。
- 敷地内には腰掛けるだけでなく、腹筋やストレッチができる「運動ができるベンチ」を設置。

≪子育て≫

- 敷地内には認可保育所を設置。敷地内という安心感もあり、送り迎えの時間も有効に使えます。
- 認可保育園の隣には、遊具を備えた広場「キッズプラザ」を設置しました。また雨の日でも遊び場に利用できるキッズルームと多目的ルームも用意。子育てパパ・ママ同士の交流も育みます。

≪安心≫

- 内科・皮膚科・胃腸科などを扱うクリニックや薬局の誘致を予定しています。
- 地域の中核病院「第一病院」と提携した「安心ドクター24 システム」を導入。24 時間 365 日電話で医療の専門家に健康に関する相談ができます。
- 24 時間警備スタッフが待機する 24 時間有人管理体制。日中は管理員・フロントスタッフが常駐します。

◇「顔が見える関係」入居者の絆のためのきっかけづくり

- 全居住者を会員とする「コミュニティクラブ運営協議会」を設置。ライブラリークラブやガーデナークラブの運営を行うだけでなく、集会室やシアタールームを使用したサークル活動の立上げをサポートします。
- 子育て交流会、シニア交流会、ファミリーバザー実施のサポートやコミュニティー活動情報をまとめた季刊紙を発行するなど入居者の交流を促進します。
- 入居前に交流イベント「ハウスウォーミングパーティー」を開催し、スムースなコミュニティー形成のきっかけづくりを行います。

(※)プラウドシティ金町ガーデン(421 戸)と金町Ⅱプロジェクト(304 戸)の総戸数 725 戸は野村不動産プラウドとして東京 23 区内最大となります。

≪プラウドシティ金町ガーデン　物件概要≫

所在地	東京都葛飾区東金町一丁目 3500 番 1 他(地番)
販売時期	平成 20 年 11 月 22 日より(会員エントリー制一般分譲)
引渡予定時期	平成 22 年 3 月下旬
構造・規模	鉄筋コンクリート造・一部鉄骨造　地上 19 階　地下 1 階建て
交通	東京メトロ千代田線直通 JR 常磐線「金町」駅徒歩 7 分、京成金町線「金町」駅徒歩 8 分
総戸数	421 戸
間取り	2LDK～4LDK
敷地面積	11,464.20 ㎡
専有面積	68.95 ㎡～115.61 ㎡
最多価格帯	4,000 万円台(1,000 万円単位)
売主	野村不動産株式会社
設計・監理	浅井謙建築研究所株式会社
施工	東海興業株式会社

以　上

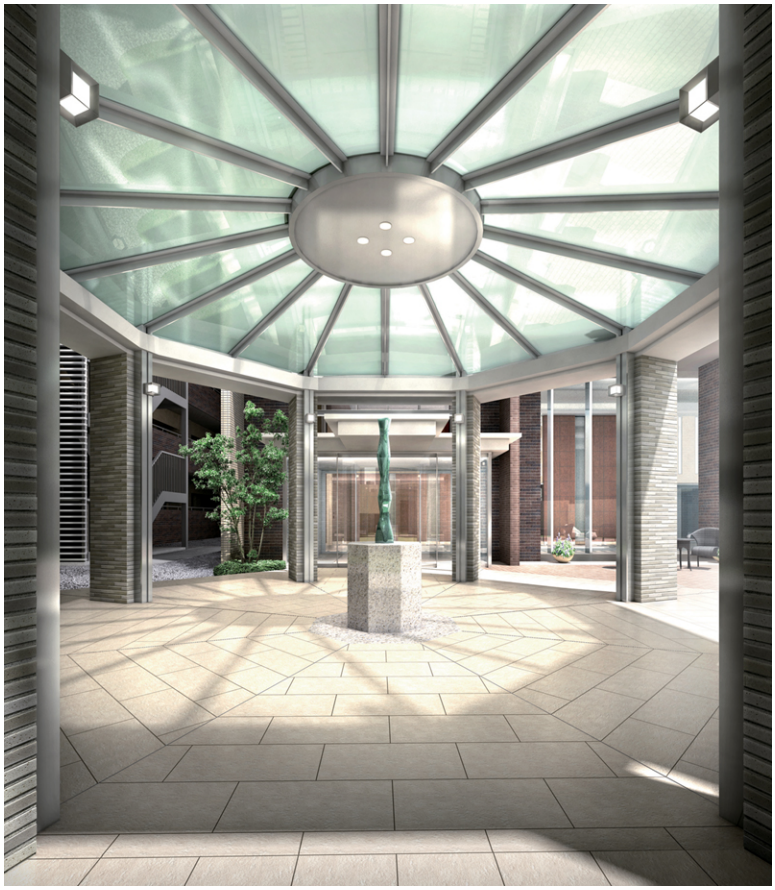
本件に関するお問い合わせ窓口

野村不動産株式会社　広報部(石川・鵜木)

TEL03－3348－7805・FAX03－3343－0445

≪建設地地図≫

※葛飾区新宿 6 丁目地区開発エリアは、葛飾区の整備方針を示したもので、土地の用途が定まっているわけではなく、また完成時期が予定されているものではありません。

≪外観完成予想図≫

≪アプローチホール完成予想図≫